

平成 30 年 1 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社DDホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 松村 厚久
 (コード番号：3073 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 経営企画本部長 斉藤 征晃
 電話番号 03-6858-6080 (代表)

平成 30 年 2 月期通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 6 月 1 日に公表いたしました平成 30 年 2 月期の通期連結業績予想を下記のとおり上方修正致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	44,500	1,800	1,700	700	91.98
今回修正予想 (B)	45,000	2,300	2,300	1,100	144.14
増減額 (B - A)	500	500	600	400	
増減率 (%)	1.1	27.8	35.3	57.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 2 月期)	30,509	1,641	1,435	648	86.52

2. 修正の理由

通期の売上高につきましては、全店及び既存店月次売上高が 10 ヶ月連続 (平成 29 年 3 月度から同年 12 月度) で前年対比を超える等、堅調に推移いたしました。営業利益、経常利益につきましては、第 3 四半期連結会計期間において、持株会社体制への移行費用、新規事業 (京都ウェディング事業及びカプセルホテル事業) におけるイニシャル費用、M&A 費用等の一過性の費用計上があったものの、継続したコストダウンや費用の効率化を図り想定通りの結果となりました。また、第 4 四半期連結会計期間においても、グループ規模拡大に対応した本社増床等の追加費用の発生やハワイ飲食マーケットの激変に対応するための対策が見込まれますが、通期の営業利益、経常利益においては、2 期連続で最高益を達成可能な見通しであり、当期純利益につきましても、前回予想を上回る見通しであります。

以上の理由から、平成 29 年 10 月 12 日付で第 2 四半期連結累計期間の業績予想の上方修正を公表する一方、通期連結業績予想数値においては据え置きとしておりましたが、本日公表の第 3 四半期連結累計期間の連結業績結果及び平成 29 年 12 月度月次売上高前年同月比 (速報値) 等の業績動向を踏まえ上方修正いたします。

これにより通期連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益、全ての項目において、過去最高益を更新する見通しとなりました。

なお、今回の連結業績予想修正に伴う期末配当予想の変更はありません。

(注) 上記予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因により本資料記載の予想数値と異なる可能性があります。